

発行日 2007年3月7日  
発行元 土井裕之 〒336-0042 さいたま市南区大谷口2423

tel 048-873-1965  
fax 048-873-3446

E-mail doi@doih.net  
HP http://doih.net

FROM EDITOR

ようやく予算特別委員会が終わりました。一時、花粉症の具合が悪く、どうなることかと思いましたが、なんとかここまで来ました。気がつくともう春です。今年はどんな春が待っているのか、と待ち遠しい気分です。

<http://doih.net>



<http://doih.livedoor.biz>

## 予算特別委員会の報告

### ■賛否の判断と討論（3月6日）

〈土井の発言＝無所属の会〉

賛成をする。  
マクロで見た際の予算編成の財政指標がいい。市税は約184億円の増額で、自主財源は70%に向上。支出は、重点事業のほとんどで「継続」「拡大」の抑制的な運営となっている。ただ、課題もあった。審議で見えてきた課題3点を添えた。

- ①集中のための廃止の選択を
- ②民との協働のための準備を
  - ・情報の共有を
  - ・民間事業者のチェック能力の向上を
- ③市民への丁寧な説明を

### 以下、土井の質疑（項目のみ）

総務（2月21日）  
●事業PR広報マガジン編集発行事業  
●外郭団体の見直し  
●職員互助会への補助金

教育市民（2月22日）  
●市保養施設について  
●消費者行政について  
●学校給食の民間委託の際のチェックについて

環境経済（2月23日）  
●不法投棄撲滅作戦 監視カメラの設置について  
●クリーンセンターと野の解体などについて  
●「テクニカルブランド」「技術伝承等」について

保健福祉（2月26日）  
●介護保険の事業者などのチェック  
●障害者の就労支援

### ■総括質疑（3月6日）

この2週間にわたり、市長から提案された予算案の審議をしてきました。その抜粋を記します。詳しくは後ほどさいたま市議会HPから「会議録」をご覧ください。

#### ①集中のための廃止の選択について

【趣旨】役割を終えた事業を廃止し、すべきことにお金や人員を集中すべき

- H19年度の廃止された事業等は？  
⇒【行政側答え】職員クラブなど
- 廃止の決断が足りないのでは？  
⇒ゼロベースの見直しをする。  
新予算編成システムを構築して積極的に事業をスクラップし、行政経営資源を重点的に配分する。

#### ②行政による民間団体へのチェックについて

【趣旨】ふじみ野市のプール事故で、「ずさんな管理が見抜けなかった」と行政は批判された。行政は公共サービスの提供者の立場から、政策立案とチェックの役割を担う方向にある。

#### ●チェックについての基本的認識は？

⇒きわめて重要であり、適切な方法等を検討する。

#### ●H19年度予算のチェックの具体例は？

⇒介護保険の監査指導などがある。今後、在り方を研究していく。

#### 都市開発（2月27日）

- 緑の保全策
- 景観法の準備状況
- 武蔵浦和駅第4街区開発による周辺への影響

#### 建設（3月1日）

- 水道検針の委託一本化
- 県から購入する「受水」と市の「地下水」の割合
- 耐震診断・改修の助成、耐震計画の内容
- 透水性舗装の実施

### 予算案の概要

全会計総額  
7190億7129万円  
(前年比6.9%増)

一般：3781億3000万円  
(4.5%増)  
特別：2388億2700万円  
(12.9%増)  
企業：1021億1429万円  
(2.6%増)

### STEPS 活動履歴

2月15日～3月6日

- .15-16 代表質問
- 2.19 教育市民委員会
- 2.21～23 予算特別委員会
- 2.26～27 予算特別委員会
- 3.1、6 予算特別委員会



### 2月議会の日程

- 2月15・16日 代表質問
- 19日 教育市民委員会
- 21日（総務） 22日（教育市民）
- 23日（環境経済） 26日（保健福祉）
- 27日（都市開発）
- 3月1日（建設） 6日（総括質疑／討論）
- 8日 議会運営委 9日 本会議・最終日

予算特別委員会

### 編集責任

さいたま市議会議員  
土井裕之

1971年、旧浦和生まれ。川口北高校卒業。1999年より浦和市議を2年勤め、合併の際、辞職。2003年さいたま市議に無所属で当選。明治大学大学院ガバナンス研究科在学中。

所属会派 無所属の会 <http://mu7.org>

所属委員会  
議会運営委員会  
教育市民常任委員会  
市民生活・安全対策特別委員会

便利帳

通勤・通学先で大災害に遭遇した時に…

- 「コンビニ」「都立高校」は帰宅支援ステーションです。水・トイレ・避難情報・一時的な休憩の場の提供を受けることができます。
- 家族の安否の確認は災害用伝言ダイヤル（171）へ。
- 水の確保は重要ですが、食料はしばらくなくても大丈夫だといわれています。

○バックナンバーはホームページにてご覧いただけます。裏白はメモにご利用ください。